

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場会社名 ローヤル電機株式会社

上場取引所 大

コード番号 6593 URL <http://www.royal-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中島 三次

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 鮫島 弘一

TEL 03-5424-1860

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,147	47.1	19	—	35	—	2	—
22年3月期第2四半期	1,460	△26.3	△138	—	△113	—	△62	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	0.59	—
22年3月期第2四半期	△14.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	6,621	4,927	74.3	1,157.14
22年3月期	6,506	4,990	76.6	1,171.79

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 4,922百万円 22年3月期 4,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	5.00	5.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,703	40.5	155	—	187	—	241	—	56.75

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 4,342,554株 22年3月期 4,342,554株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 88,778株 22年3月期 88,758株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 4,253,776株 22年3月期2Q 4,253,796株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象に関する注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大手製造業の景況感は改善し、足元は底堅い動きが続いているものの、欧州での金融危機による円高や株価の低迷、国内の所得・雇用環境の改善の遅れによる政治不安も重なり、力強さに欠けたまま推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、市場ニーズにあった新製品の開発・投入、一層の営業力の強化による新規顧客の開拓、更なる品質や生産効率の向上等に総力をあげて取り組んでおります。

上記の経済環境のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,147百万円（前年同四半期比47.1%増）、営業利益19百万円（前年同四半期は営業損失138百万円）、経常利益は35百万円（前年同四半期は経常損失113百万円）、四半期純利益は2百万円（前年同四半期は四半期純損失62百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、6,621百万円（前期末比115百万円増加）、純資産は4,927百万円（前期末比62百万円減少）、自己資本比率は74.3%（前期末76.6%）となりました。

総資産の増加は、売上高回復による売上債権と棚卸資産の増加によります。純資産の減少は、その他有価証券評価差額金の減少と配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績と進捗状況を勘案し精査を行なっておりますが、現段階では平成22年5月14日付に公表しました業績予想を修正しておりません。今後、業績予想に大きな変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを使用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益が、それぞれ132千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、15,775千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は14,700千円であります。

2. 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、損益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	600,333	843,971
受取手形及び売掛金	1,309,230	1,170,297
有価証券	18,118	18,910
営業投資有価証券	1,503,553	1,473,355
商品及び製品	211,886	153,007
仕掛品	258,671	218,828
原材料及び貯蔵品	592,123	368,954
販売用不動産	148,000	157,000
繰延税金資産	4,290	1,610
その他	28,334	46,627
貸倒引当金	△2,809	△2,920
流動資産合計	4,671,733	4,449,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	293,838	307,578
機械装置及び運搬具(純額)	84,751	92,642
工具、器具及び備品(純額)	43,116	48,120
土地	662,485	662,485
リース資産(純額)	32,574	37,354
有形固定資産合計	1,116,765	1,148,181
無形固定資産		
のれん	360,038	380,612
借地権	32,841	32,841
その他	36,581	40,333
無形固定資産合計	429,461	453,787
投資その他の資産		
投資有価証券	301,364	352,394
その他	106,752	107,398
貸倒引当金	△4,457	△5,388
投資その他の資産合計	403,659	454,405
固定資産合計	1,949,885	2,056,374
資産合計	6,621,619	6,506,018

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	807,970	610,194
1年内返済予定の長期借入金	99,324	99,324
未払法人税等	19,913	18,785
未払消費税等	4,440	4,684
賞与引当金	36,706	35,891
その他	200,160	127,841
流動負債合計	1,168,515	896,720
固定負債		
長期借入金	143,075	192,737
リース債務	23,013	27,793
繰延税金負債	57,928	74,897
退職給付引当金	280,491	307,587
役員退職慰労引当金	2,268	11,838
資産除去債務	14,700	—
その他	3,823	4,062
固定負債合計	525,299	618,915
負債合計	1,693,815	1,515,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,538,448	1,538,448
資本剰余金	1,676,743	1,676,743
利益剰余金	1,944,638	1,963,398
自己株式	△201,128	△201,118
株主資本合計	4,958,702	4,977,472
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,720	63,107
繰延ヘッジ損益	—	562
為替換算調整勘定	△65,191	△56,603
評価・換算差額等合計	△36,471	7,066
少数株主持分	5,572	5,843
純資産合計	4,927,803	4,990,381
負債純資産合計	6,621,619	6,506,018

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,460,200	2,147,676
売上原価	1,268,191	1,754,659
売上総利益	192,009	393,016
販売費及び一般管理費	330,093	373,095
営業利益又は営業損失(△)	△138,084	19,921
営業外収益		
受取利息	252	106
受取配当金	3,969	4,529
有価証券評価益	1,130	—
持分法による投資利益	5,172	4,532
受取賃貸料	6,653	5,016
還付加算金	9,676	—
その他	9,769	16,976
営業外収益合計	36,625	31,160
営業外費用		
支払利息	1,312	2,590
有価証券評価損	—	792
為替差損	8,528	10,127
その他	1,937	2,464
営業外費用合計	11,778	15,974
経常利益又は経常損失(△)	△113,237	35,107
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	58
役員退職慰労引当金戻入額	46,195	1,968
特別利益合計	46,195	2,027
特別損失		
固定資産除却損	483	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,643
特別損失合計	483	15,643
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67,526	21,491
法人税等	△5,151	19,252
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,238
少数株主損失(△)	△348	△270
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△62,026	2,509

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67,526	21,491
減価償却費	47,480	56,669
のれん償却額	10,286	20,573
有形固定資産除売却損益(△は益)	483	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,020	△1,042
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,643
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,024	830
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,147	△27,095
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△45,350	△9,569
受取利息及び受取配当金	△4,221	△4,635
支払利息	1,312	2,590
有価証券評価損益(△は益)	△1,130	792
持分法による投資損益(△は益)	△5,172	△4,532
売上債権の増減額(△は増加)	90,019	△77,670
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△31,121	△30,197
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,702	△318,174
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,918	200,305
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,843	△243
為替差損益(△は益)	△5,830	106
その他	△108,353	17,072
小計	△100,649	△137,086
利息及び配当金の受取額	4,503	4,670
利息の支払額	△2,193	△2,500
法人税等の還付額	337,833	13,842
法人税等の支払額	△21,493	△14,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,999	△135,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△20,054	△22,979
無形固定資産の取得による支出	—	△3,138
投資有価証券の取得による支出	△2,159	△2,221
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,747	—
事業譲受による支出	△86,594	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,556	21,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	—
短期借入金の返済による支出	△220,000	—
長期借入れによる収入	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,277	△49,662
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,322	△4,780
自己株式の取得による支出	△7	△9
配当金の支払額	△31,999	△21,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	287,393	△75,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,052	△4,226

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	386,889	△193,638
現金及び現金同等物の期首残高	567,491	531,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	954,380	337,580

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は主に製品別・事業の種類別に「送風機事業」「住設事業」「自動巻線機事業」「企業再生支援事業」「アクア関連事業」の5事業に分類し、当該5事業を報告セグメントとしております。

各セグメントの製品及び事業概要は以下のとおりであります。

- ① 送風機事業 小形送風機及び小形モーター
- ② 住設事業 防水形照明器具等の住宅関連機器
- ③ 自動巻線機事業 各種巻線機並びに電気器具
- ④ 企業再生支援事業 企業再生支援
- ⑤ アクア関連事業 マイクロナノバブル発生装置

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	送風機事業	住設事業	自動巻線機 事業	企業再生 支援事業	アクア関連 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	1,155,875	368,421	575,030	35,920	12,428	2,147,676	—	2,147,676	—	2,147,676
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,155,875	368,421	575,030	35,920	12,428	2,147,676	—	2,147,676	—	2,147,676
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	123,478	26,139	△32,576	30,707	△24,600	123,149	△10,705	112,444	△92,522	19,921

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含みます。

2. セグメント利益の調整額△92,522千円の主なものは、当社の総務部門等、一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号、平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象に関する注記

アクア事業部の事業譲渡について

当社は、平成22年10月19日開催の取締役会において、アクア関連事業を株式会社バイコムに譲渡することを決議し、平成22年10月19日付けで事業譲渡契約を締結いたしました。

1. 事業譲渡の理由

当社はマイクロナノバフル発生装置の製造・販売を行ってまいりましたが、当社創業以来の本業である送風機事業並びに照明事業との事業シナジー効果も希薄であることから、事業の選択と集中及び当社グループの経営効率化を図ることを目的に、水質改進黨業を専業とする株式会社バイコムへ、本件対象事業を譲渡することといたしました。

2. 事業譲渡先の概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 商号 | 株式会社バイコム |
| (2) 本店所在地 | 大阪府和泉市テクノステージ三丁目5番2号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 菅野 昌知 |
| (4) 事業内容 | 微生物販売事業、下水汚泥の有効利用等の研究開発 |
| (5) 当該会社との関係 | 当社と当該会社との間には直接の資本関係はありませんが、当社及び当社の親会社の役員である小野稔が議決権の過半数を所有していることから、当社の関連当事者に該当いたします。 |

3. 譲渡する事業の内容、経営成績

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| (1) 譲渡する事業の内容 | マイクロナノバフル発生装置の製造・販売 |
| (2) 譲渡する事業の経営成績（平成22年3月期） | |
| 売上高 | 59,353千円 |
| 営業利益 | △39,796千円 |

4. 譲渡の時期

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 取締役会決議 | 平成22年10月19日 |
| (2) 事業譲渡契約締結 | 平成22年10月19日 |
| (3) 事業譲渡期日 | 平成22年10月31日 |

5. 譲渡価額

124,198千円